

管内の住宅用火災警報器設置による奏功事例一覧（４７事例）

令和３年６月末現在

奏功事例 1

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-------------------------------|------|-----|------------------|---|
| 平成 20 年 3 月 | 5 時頃 | 多賀城 | ガステーブル (使用放置) | 居住者がガステーブルを点火したまま放置したことから、住宅用火災警報器の警報音でフライパンからの出火に気が付き、消火、119番通報したもの。 |
| 早期発見により、壁の一部等の焼損で済んだ事例 | | | | |

奏功事例 2

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---|-------|-----|------------------|---|
| 平成 20 年 11 月 | 16 時頃 | 七ヶ浜 | ガステーブル (消し忘れ) | 使用していたガステーブルを消し忘れ、別の部屋で食事していたところ「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に気が付き、ガステーブル付近が燃えているのを発見、消火したもの。 |
| 早期の発見により、外壁の一部等の焼損で済み、延焼拡大が免れた事例 | | | | |

奏功事例 3

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|--|-------|-----|--------|--|
| 平成 20 年 12 月 | 22 時頃 | 七ヶ浜 | 電気ストーブ | 台所で洗い物中に、階段に設置の住宅用火災警報器の警報音に気が付き、2階へ上がると、濃煙と熱気に包まれており、就寝中の子供を避難させ、消火したものの。 |
| 早期の発見により、外壁の一部のみの焼損で済み、就寝中の子供の避難が成功した事例 | | | | |

奏功事例 4

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|--------------------------------------|-------|----|--------------|---|
| 平成 21 年 6 月 | 10 時頃 | 松島 | たばこ (不始末) | 留守中の住宅からの住宅用火災警報器の警報音に隣人が気付き、煙を発見、近くの事業所員等と協力し、初期消火と119番通報したもの。 |
| 早期の発見により、台所の床と壁の一部だけの焼損で済んだ事例 | | | | |

奏功事例 5

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---|------|----|-----------------|---|
| 平成 21 年 10 月 | 8 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (消し忘れ) | 「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に隣人が気付き、軒下より煙がでているのを発見して、火災を知らせようとしたが留守だったため、119番通報したもの。 |
| 早期の発見により、コンロ上の鍋の内容物のみが焦げただけで、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 6

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------------------------|-------|-----|--------------|---|
| 平成 21 年 12 月 | 20 時頃 | 多賀城 | たばこ (不始末) | 留守中の住宅から「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に隣接共同住宅の隣人が気付き、119番通報し、到着した消防隊が消火したもの。 |
| 早期の発見により、床の一部だけの焼損で済んだ事例 | | | | |

奏功事例 7

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 22 年 2 月 | 20 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (使用放置) | 留守中の住宅からの「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に隣人が気付き、軒下より白煙を発見、未施錠の窓から屋内に入りこんろの火を消し、119番通報したもの。 |
| 早期の発見により、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 8

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 22 年 2 月 | 11 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (消し忘れ) | 留守中の住宅で住宅用火災警報器が作動し 警備会社に移報されて、駆けつけた警備員がこんろの火を消し止めたもの。 |
| 早期の発見により、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 9

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-------------------------------------|-------|----|------|--|
| 平成 22 年 4 月 | 23 時頃 | 塩釜 | 電気関係 | 3階建て店舗兼住宅の3階で発報した住宅用火災警報器の警報音に2階住居部分にいた居住者が気付き、迅速な避難及び119番通報をしたもの。 |
| 早期の覚知により、出火した階の一部のみの焼損で済んだ事例 | | | | |

奏功事例 10

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------------------------|-------|----|----|--|
| 平成 22 年 5 月 | 19 時頃 | 利府 | 放火 | 1階にいた両親が、2階からの住宅用火災警報器の警報音に気付き消火器にて消火したもの。 |
| 早期の発見により、出火した部屋のみ焼損で済んだ事例 | | | | |

奏功事例 1 1

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|-----|----|--|
| 平成 22 年 6 月 | 3 時頃 | 多賀城 | 不明 | 1 階に高齢者、2 階に他の居住者が就寝中、住宅用火災警報器の警報音で火災に気付いて避難及び 1 階で就寝中の高齢者を救出した。住宅は全焼したが住宅用火災警報器の設置の目的である「死傷者の抑止」に効果のあった事例である。 |

早期の覚知により、全焼住宅火災から全員が避難できた事例

奏功事例 1 2

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 22 年 9 月 | 16 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (消し忘れ) | 居住者が、ガスこんろで料理中に点火したまま外出してしまい、帰宅した際に建物から白煙及び「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に気づき、屋内に入りこんろの火を消し止めたもの。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 1 3

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|-----------------|--|
| 平成 23 年 1 月 | 9 時頃 | 利府 | ガスこんろ (使用放置) | 居住者が、ガスこんろで料理中に点火したまま出掛けてしまい、住宅用火災警報器が作動し警備会社に移報され、警備会社が 1 1 9 番通報して駆けつけた警備会社職員及び消防隊によってこんろの火を止めたもの。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 1 4

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|---|
| 平成 23 年 2 月 | 18 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (消し忘れ) | 隣人が「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音を聞きつけ、建物に入り台所のガスこんろの火を止めたもの。警報音が鳴っていた住宅には聴覚が不自由な居住者は在宅していたが、住宅用火災警報器の警報音が聞こえなかったもの。こんろで料理中に火を消し忘れ、鍋の内容物のみが焦げただけで火災に至らなかった事例である。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 15

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 23 年 3 月 | 10 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (使用放置) | 住宅から「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音を、付近を通りかかった人が気づき近隣の事業所に駆け込み 119 番通報をして、事業所の社員が住宅に入ろうとしたが不在で施錠されていたので LPG ボンベの元栓を閉めたもの、消防隊が駆けつけた際には火は消えており、鍋の内容物のみが焦げただけで火災に至らなかった事例である。 |
| 早期の発見により、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 16

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------------------------|------|----|------------------|--|
| 平成 23 年 5 月 | 2 時頃 | 塩釜 | ガステーブル (使用放置) | 居住者が寝室で就寝中、寝室に設置してある住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、台所に向うとガステーブル付近から天井にかけて燃えていたため、すぐにバケツ・水道用ホースを使用し消火した事例である。 |
| 早期の発見により、台所の一部の焼損だけで済んだ事例 | | | | |

奏功事例 17

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------------------------|------|-----|--------|--|
| 平成 23 年 5 月 | 5 時頃 | 多賀城 | 石油ストーブ | 台所に設置してある住宅用火災警報器の警報音に気づき、茶の間に向うと、ストーブ付近から炎が立ち上がっていたため、すぐに濡れタオル等を使用し消火した事例である。 |
| 早期の発見により、居室の一部の焼損だけで済んだ事例 | | | | |

奏功事例 18

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------------------|-------|-----|-----------------|--|
| 平成 24 年 1 月 | 11 時頃 | 多賀城 | ガスこんろ (使用放置) | 付近で作業中の人住宅の窓から煙が出ているのを発見し、さらに「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音も聞こえたので火災と思い 119 番通報。消防隊が駆けつけ、こんろの火を消したものの鍋の内容物が焦げただけで、火災に至らなかった事例である。 |
| 早期の発見により、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 19

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|------------------|---|
| 平成 24 年 2 月 | 9 時頃 | 塩釜 | ガステーブル (使用放置) | 居住者がガステーブルを点火したまま放置し、2階にいた居住者が住宅用火災警報器の「火事です」という音声と煙で気付いたもの。別の家族が衣服を浴槽に浸し鍋に被せて消火。さらに粉末消火器を使用し、完全消火したもの。 |

早期の発見により、厨房の一部の焼損だけで済んだ事例

奏功事例 20

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|-----|----------------|--|
| 平成 24 年 8 月 | 17 時頃 | 多賀城 | 魚焼き器 (使用放置) | 隣人が住宅用火災警報器の警報音及び換気扇からの煙を発見し 119 番通報を行い、自宅内にいた居住者に知らせたもの。内容物が焦げただけで火災に至らなかった事例である。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 21

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|------------------|---|
| 平成 24 年 8 月 | 8 時頃 | 利府 | ガステーブル (使用放置) | 台所ガステーブルでゆで卵を作ろうとこんろに鍋をのせたが、こんろではなくグリル(魚焼き器)を点火しそのまま放置した。 台所の住宅用火災警報器の警報器が鳴動したが、居住者は何の音かわからなかった。外を通りかかった付近住民が住宅用火災警報器の警報音と煙に気づきグリルのスイッチを切ったもの。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 22

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------|------|-----|--------------------|---|
| 平成 24 年 12 月 | 1 時頃 | 多賀城 | アロマキャンドル (消し忘れ) | 居住者がアロマキャンドルに点火したまま外出してしまい、隣人が焦げ臭いにおいと「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に気づき 110 番通報し、駆けつけた警察官が水道水で消火したもの。 |

早期の発見により、リビングの一部の焼損だけで済んだ事例

奏功事例 23

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|--------------|---|
| 平成 25 年 1 月 | 18 時頃 | 松島 | たばこ (不始末) | 隣人が「ピーピー火事です」という住宅用火災警報器の警報音が聞こえたため、外に出たところ建物から若干の煙を発見し、大家へ知らせた。駆けつけた大家が水バケツにて消火したもの。 |

早期の発見により、居室の収容物(布団)のみの焼損だけで済んだ事例

奏功事例 2 4

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|------|---|
| 平成 25 年 4 月 | 4 時頃 | 塩釜 | 化学反応 | 居住者が「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音を自宅内で聞きつけ、自宅内を確認したところ、トイレから煙が出ているのを発見し、燃焼物を濡れタオルにて消火したものを。 |

早期の発見により、トイレ内の収容物と内壁一部の焼損だけで済んだ事例

奏功事例 2 5

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|--------------|--|
| 平成 26 年 2 月 | 5 時頃 | 塩釜 | たばこ (不始末) | 居住者が「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音を自宅トイレ内で聞きつけ、居間のこたつ布団から煙が出ているのを発見し、燃焼物をペットボトルの水にて消火したものを。 |

早期の発見により、居間のこたつ布団とこたつカバーの焼損だけで済んだ事例

奏功事例 2 6

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|---|
| 平成 26 年 6 月 | 16 時頃 | 利府 | ガスこんろ (使用放置) | 天ぷら鍋に火を点けたまま来客対応をし 5～6 分ほど経過した頃、台所に設置していた住宅用火災警報器（熱式）が作動したものを。居間に居た娘から天ぷら鍋が燃えていると言われ、台所にあった野菜を天ぷら鍋に投入したところ、たまたま消火に成功した。 ※なお、消防本部では野菜による初期消火は推奨しておりません。 |

早期の発見により、鍋の内容物のみが焦げただけで済んだ事例

奏功事例 2 7

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|-----|------------------|---|
| 平成 26 年 8 月 | 18 時頃 | 多賀城 | ガステーブル (使用放置) | 女性の居住者が居間でテレビを見ていた際に、台所に設置してある住宅用火災警報器の警報音を聞き、確認に向かったところ、ガスこんろのグリル排気部分が少し燃えていたため、すぐにコップの水にて消火したものを。 |

早期の発見により、グリル排気部分が少し燃えただけで済んだ事例

奏功事例 28

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------|------|-----|-----------------|--|
| 平成 26 年 12 月 | 9 時頃 | 多賀城 | ガスこんろ (使用放置) | <p>居住者が、ガスこんろを使用放置したまま外出したため、鍋から立ち上がった煙を、台所に設置した住宅用火災警報器(煙式)が作動し、付近で塗装作業をしていた作業員が、建物内で鳴動している住宅用火災警報器の警報音に気付き、さらに煙が出ているのを発見したため、119番通報した。</p> <p>消防隊が無施錠だった玄関から進入し、ガスこんろの火を止めたもの。</p> |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 29

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 27 年 2 月 | 19 時頃 | 塩釜 | ガスこんろ (使用放置) | <p>店舗にいた従業員が「ピーピー」という音を店舗内で聞き、厨房のドアを開けたところ、こんろ上のてんぷらなべから天井付近まで炎が立ち上がり、換気扇が燃えているのを発見、てんぷらなべに衣服を覆いかぶせ消火し、換気扇の炎を器に汲んだ水道水にて消火したもの。</p> <p>なお、この火災で当該建物の台所天井に設置された住宅用火災警報器(煙式)が作動したものと判明。</p> |

早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例

奏功事例 30

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|-------|--|
| 平成 27 年 9 月 | 4 時頃 | 塩釜 | コンセント | <p>就寝中に住宅用火災警報器の警報音で目を覚ました居住者が、飼育用水槽付近から煙が出ているのに気付き、台所の水道水で消火したもの。</p> |

早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例

奏功事例 31

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|----|----|--|
| 平成 27 年 9 月 | 8 時頃 | 利府 | 不明 | <p>住宅用火災警報器の警報音に気付いた居住者が、家族へ火災を知らせ119番通報し、その後家族が水道ホースにて消火したもの。</p> |

早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例

奏功事例 32

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|------|-----|------------------|--|
| 平成 27 年 9 月 | 9 時頃 | 七ヶ浜 | ガステーブル (使用放置) | <p>居住者がガスこんろに鍋をかけて外出し、住宅用火災警報器の警報音に気付いた隣人が119番通報し、ガスこんろの火を消したもの。</p> |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 3 3

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|-----|------------------|--|
| 平成 28 年 2 月 | 11 時頃 | 七ヶ浜 | ガステーブル (使用放置) | 住宅用火災警報器の警報音に気付いた居住者が台所を確認すると、ガステーブル上の鍋から炎が上がっているのを発見し、水道水にて消火したものを。 |

早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例

奏功事例 3 4

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|---|
| 平成 28 年 6 月 | 16 時頃 | 利府 | ガスこんろ (使用放置) | 居住者がガスこんろに鍋をかけ点火したまま外出したため、警備会社で設置した火災警報器が感知し、警備会社より当消防本部へ通報された事案。 出動した消防隊によりガス供給を遮断し、火災に至らなかったもの。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 3 5

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|----|-----------------|--|
| 平成 29 年 1 月 | 18 時頃 | 利府 | ガスこんろ (使用放置) | 居住者がガスこんろに鍋をかけ点火したまま放置したため、警備会社で設置した火災警報器が感知し、警備会社より当消防本部へ通報された事案。火災に至らなかったもの。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 3 6

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------|-------|-----|-----------------|--|
| 平成 29 年 2 月 | 17 時頃 | 多賀城 | ガスこんろ (使用放置) | 共同住宅の一室において、居住者がガスこんろに鍋をかけ点火したまま放置し、住宅用火災警報器の警報音に気付いた隣人が、こんろの火を止めた後、119番通報したものを。 |

早期の発見により、火災に至らなかった事例

奏功事例 37

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------------------|-------|----|-----------------|---|
| 平成 29 年 6 月 | 17 時頃 | 利府 | ガスこんろ (使用放置) | 居住者がガスこんろにフライパンをかけ点火したまま放置したことから住宅用火災警報器が作動し、近隣住民が住宅用火災警報器の警報音に気付き、白煙と焦げ臭さを感じ 119 番通報を行った。また、自宅にいた居住者はガスこんろの使用放置による煙に気付くとガスこんろの火を止め、フライパンに蓋をした後、消防隊が到着するまで屋外へ避難していた。なお、怪我人、焼損物等はなかった。 |
| 早期の発見により、火災に至らなかった事例 | | | | |

奏功事例 38

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|----------------------------------|-------|-----|----|--|
| 平成 29 年 9 月 | 12 時頃 | 多賀城 | 不明 | 共同住宅の一室において、就寝中の居住者（10代）が、住宅用火災警報器の警報音で目を覚ましたところ、居室が煙で充満していたため、屋外へ避難し携帯電話で 119 番通報をした。 |
| 早期の発見により、居室の一部の焼損だけで済んだ事例 | | | | |

奏功事例 39

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|--------------------------------|-------|-----|------|--|
| 平成 29 年 12 月 | 20 時頃 | 塩竈市 | ライター | 共同住宅の一室において、全盲である居住者が「ピーピー」という住宅用火災警報器の警報音に気付き、電話で近隣住民に助けを求めた。駆けつけた近隣住民が、台所付近から火炎と煙を確認し、濡れタオル及び水道水で消火した。 |
| 早期の発見により、延焼拡大が免れた事例（ぼや） | | | | |

奏功事例 40

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|------------------------------------|-------|------|--------|--|
| 平成 29 年 12 月 | 10 時頃 | 多賀城市 | 電気ストーブ | 1 階居室にいた居住者が 2 階寝室に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気付き、119 番通報し、屋外に避難したもの。（初期消火の実施なし） |
| 早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例（ぼや） | | | | |

奏功事例 41

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|--------------------------------|-------|-----|----------|---|
| 平成 30 年 11 月 | 10 時頃 | 利府町 | 電気配線ショート | 居住者が不在にしていたところ、隣人の第一発見者が出火建物から白煙がでているのを発見、建物に近寄り住宅用火災警報器の作動音を聞き通報、延焼拡大を免れたもの。 |
| 早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例 | | | | |

奏功事例 4 2

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|-----------------|-------|------|------------------|---|
| 平成 30 年 11 月 | 13 時頃 | 多賀城市 | ガステーブル (使用放置) | 魚焼きグリルを使用中に居住者がその場を離れたため魚が焦げ、煙が発生。住宅用火災警報器の警報音に気づき、水道水で消火したため、火災には至らなかったもの。 |

早期の発見により、火災にいたらなかった事例

奏功事例 4 3

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------|------|-----|------|--|
| 令和 2 年 2 月 | 8 時頃 | 利府町 | ろうそく | 火のついたろうそくが転倒、座布団に着火し延焼拡大した。居住者 2 名が別室の住宅用火災警報器の警報音に気づき、1 名が初期消火、もう 1 名が 110 番通報した後に避難したもの。住宅は半焼したが、住宅用火災警報器の設置目的である「死傷者の抑止」に効果のあった事例である。 |

早期の覚知により、半焼住宅火災から全員が避難できた事例

奏功事例 4 4

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------|-------|-----|-----------|---|
| 令和 2 年 6 月 | 21 時頃 | 利府町 | バッテリーの過充電 | 2 階居室でバッテリーを充電していたところ、過充電となり火災が発生、居住者 2 名が別室の住宅用火災警報器の警報音に気づき、1 名が 119 番通報もう 1 名が初期消火し延焼拡大を免れたもの。 |

早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例（ぼや）

奏功事例 4 5

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------|-------|-----|------------------|--|
| 令和 3 年 2 月 | 23 時頃 | 塩竈市 | 地震の揺れによる物 品落下 | 居住者が住宅用火災警報器の警報音を聞き、電気こんろのスイッチを消し、居住者が消火器にて消火活動した。 |

早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例（部分焼）

奏功事例 4 6

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------|------|-----|--------|--------------------------------------|
| 令和 3 年 2 月 | 7 時頃 | 塩竈市 | 電気ストーブ | 居住者が住宅用火災警報器の警報音を聞き、濡らしたタオルをかけて消火した。 |

早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例（ぼや）

奏功事例 47

| 年月 | 時間 | 市町 | 原因 | 発見・通報・初期消火状況 |
|---------------------------|-----|-----|-------------|------------------------------------|
| 令和3年 6月 | 1時頃 | 利府町 | 電気こんろ（使用放置） | 住宅用火災警報器の鳴動と焦げた臭いに気づいた隣人が119番通報した。 |
| 早期の発見により、被害がなかった事例 | | | | |